

ドライブスルー検査開始

サンタクルス病院



ドライブスルー方式によるPCR検査の様子

「日系社会や、日本企業の方々へのニーズに応えたい」と思い、この試みを始めました。サンタクルス病院(HSC)では11日(火)から医師の診察付PCR検査を、ドライブスルー方式で行っている。コロナ禍で不安な日々を送る高齢者や、ドライブスルーに滞在する日本人への要望に応えたいという石川レナト理事長の思いで開始した。

本来ならPCR検査を受けるために診断書(ヘイド・ド・メディコ)を出してからの同検査を行うところだが、効率化を図り自家用車に乗ったまま医師の診察と検査を可能にしたという。

検査対応日は原則的に月曜日から土曜日の午前9時から12時の間で対応しており、それ以外の時間は要相談となる。以前から、新型コロナウイルスの診察場所を分けていたが、屋外にPCR検査テントを設置し

職場復帰や渡航時の陰性証明

「高まるニーズに応える」

「コロナ禍で、日本企業の方々へのニーズに応えたい」と思い、この試みを始めました。サンタクルス病院(HSC)では11日(火)から医師の診察付PCR検査を、ドライブスルー方式で行っている。コロナ禍で不安な日々を送る高齢者や、ドライブスルーに滞在する日本人への要望に応えたいという石川レナト理事長の思いで開始した。

本来ならPCR検査を受けるために診断書(ヘイド・ド・メディコ)を出してからの同検査を行うところだが、効率化を図り自家用車に乗ったまま医師の診察と検査を可能にしたという。

検査対応日は原則的に月曜日から土曜日の午前9時から12時の間で対応しており、それ以外の時間は要相談となる。以前から、新型コロナウイルスの診察場所を分けていたが、屋外にPCR検査テントを設置し

鳥越陸軍少将が司令官に

南麻州の機械化騎兵旅団で



鳥越陸軍少将(Andarado)

鳥越・アデルソン・アキラ陸軍少将がブラジル西部軍の第4機械化騎兵旅団の司令官に指名された。8月6日にブラジリアで就任式が行われた。新任先である南麻州ドウラドス・イミグランテス「ドウラドス」に8月19日付で赴任した。以前は電話で予約受付を行ってきたが、口頭のやり取りでは情報量も多く証明書の発行も必要となることから、ドライブスルー検査専用予約フォームを設置している。予約詳細などは下記ページまで「予約フォーム(日本語とポルトガル語) www.hospitalsanta-cruz.com.br/teste-par/」

防衛警備を担当する南東軍の第2軍区司令部で第2支隊長や、ブラジル南部軍司令官、ブラジリア連隊司令官、ブラジリアの陸軍情報センター(CIE)士官など勤めた。国外では国際連合の平和維持活動で国際連合コトジボワール活動(UNOCI)に軍事監視員として参加、ハイチ安定化ミッション(MINUSTAH)にも参加している。18年からはフランス・ベルギーに駐留しブラジル陸軍の外交を担当していた。

在ブラジル日本国大使館(山田章大使)は8月4日、ブラジリア連邦直轄区立言語センター(CIL)のパラノア校に、日本から届いた日本語教材や漫画の贈与を行った。山田大使は「これだけの日本教材や漫画を持つ公立教育施設はブラジルには無いのでは」と述べ、「漫画で楽しみながら日本語や文化を学んでいただきた」と挨拶した。贈与にはサラ・ホベル・タ・フレイレイラ・リマ副校長とイザッキ・アギアノア地区教育調整官が立ち会い、感謝の言葉が伝えられた。



左からカストロ・パラノア地区教育調整官、リマ副校長、山田大使、大使館サイトより

自分も叱咤するように、頭の中で別のマルコスが声を励ます。(そう、今はそんな不謹慎なことを考えている場合ではないんだ。純粹に教会のことだけを話してあげよう) ふと、我に返るようになって、マルコスは、現実の世界に引き戻された。

「ああ、マルコス、急に黙ってしまったわね。さっきから私、あなたに質問しているけど一向に返事が返って来ないから、どうしたのかと思ったわね。」

「ああ、大丈夫なの。まさか、暑さやられたということでもないでしょう。今日はそんな暑さでもないし、むしろ、涼しいくらいで気持ちのいい天気だわ。」

「あ、ごめん、ごめん。どんな質問だったのですか。ちよつと考え事をしていたもので、よく聞いていなかったのですが。」

「まあ、マルコスでもないということがあるのね。日本語の授業では、そんなこと滅多にないけど、いいわ、もう一度質問しますよ。私が知りたかったのは、マルコス、あなたは将来、どんな道に進んで行きたいかと思っているのかということよ。」

「あなたの家の家業を継いで、いづれ農業と牧畜を営んでいくことになるのかしら。それとも、将来は勉学の方に進んで、大都市、たとえばサンパウロとかリオデジャネイロに出て弁護士になるとか、医者になるとか、そういうような希望があるのかということね。」

「どうして、こんなことを聞くかということね、あなたの学力はかなりのものだから、このままやめてしまつて家業を継ぐのは、何だか惜しいような気がするからなの。いえ、農業とか牧畜が駄目だと言っているわけじゃないのよ。それはそれで立派で有意義な生き方だと思うけど、しかし、あなたの場合は、もっと別な方面での可能性が大きいんじゃないかと、私は思うの。」

「ごめんなさい、勝手にこんなことを喋ってしまった。でも、私の見るところでは、マルコスの学力だったら、十分にその可能性があるのではと考える。もちろん、それに対して私は何の責任も負えないけど、挑戦してみるだけの価値はあると思うわ。何だか無責任な話のようだけど、ずっと今まで、マルコスの勉強ぶりを見てきたところでは、そのことは間違いないと思うようになったの。私が聞いたのは、あなたにそういう希望があるのかどうかということね。」

「うーん、そのことについては私も考えたことがあります。大学へ行けば、将来もっと大きな可能性が出てくるだろうし、勉強をする必要もなくなる。さらにはいろいろなことが理解できるようになるはずだから、できればそういう可能性を試したいと思うこともあります。ただ、今のところ、この問題についてはまだはっきりしたことは決まていません。」

「父に相談したこともありますが、父は特に勧めることもなく、といて反対するのでもなく、お前の好きなようにしたらいいだろうと言ってくれました。幸い、うちは農業も牧場もうまくいっている比較的恵まれた状況にありますから、僕がいなくても特に問題は無いのですが、しかし、僕としてはやはり、牧畜に興味がありますから、学校の勉強よりもこの方面での経験を積んでいく方がいいのではないかと、思ったりしています。」

特別企画 サンパウロ難移民座談会 大浦智子 第13回

「前回のジャンさんから『日本人の受け入れ文化とは?』について、あくまでも個人的な見解を述べます。日本人の伝統的な考え方に、『全てものに神が宿る』というものがあります。その様な感覚からか、日本人は、いかなる民族や宗教も受け入れず、一度受け入れた人や物を大切にします。ただし、日本人は、全てを日本様式にすることを好みます。それは、無言で行われます。暴力をふるって強制するのではなく、無言で、日本様式でなければ生きにくいようにする社会です。とても独特です。多分、他国から来た人はそれに慣れるまでとても苦労します。例えば、時間にルーズ、言行不一致の人は社会でゆる信用を失うような厳しい社会です。日本では宗教も自由です。しかし、日本人としてのキリスト教徒や仏教徒であるということが必要です。つまり、日本様式で日常生活を送ることが求められます。日本人の『受け入れる』というのとは、外から来た人が社会に統合されるのとは容易ではありません。日本人は外から来る人をとても警戒します。しかし、その人が日本のルールを守ると分かれば、とて大切に、尊重します。例えば、マリウのウズビ・サコ氏は2018年に日本の私立大学の学長になりました。長い間、テレビで活躍していたギニア人もいて、とても人気があつたような例もあります。『アドルフ』智子さんの説明から分かることは、日本は保守的で閉鎖的、たくさんのルールがある社会です。そのため、外から来た人が社会に統合されるのは容易ではありません。日本人の誰かが日本社会の習慣と生き方

「前回のジャンさんから『日本人の受け入れ文化とは?』について、あくまでも個人的な見解を述べます。日本人の伝統的な考え方に、『全てものに神が宿る』というものがあります。その様な感覚からか、日本人は、いかなる民族や宗教も受け入れず、一度受け入れた人や物を大切にします。ただし、日本人は、全てを日本様式にすることを好みます。それは、無言で行われます。暴力をふるって強制するのではなく、無言で、日本様式でなければ生きにくいようにする社会です。とても独特です。多分、他国から来た人はそれに慣れるまでとても苦労します。例えば、時間にルーズ、言行不一致の人は社会でゆる信用を失うような厳しい社会です。日本では宗教も自由です。しかし、日本人としてのキリスト教徒や仏教徒であるということが必要です。つまり、日本様式で日常生活を送ることが求められます。日本人の『受け入れる』というのとは、外から来た人が社会に統合されるのとは容易ではありません。日本人は外から来る人をとても警戒します。しかし、その人が日本のルールを守ると分かれば、とて大切に、尊重します。例えば、マリウのウズビ・サコ氏は2018年に日本の私立大学の学長になりました。長い間、テレビで活躍していたギニア人もいて、とても人気があつたような例もあります。『アドルフ』智子さんの説明から分かることは、日本は保守的で閉鎖的、たくさんのルールがある社会です。そのため、外から来た人が社会に統合されるのは容易ではありません。日本人の誰かが日本社会の習慣と生き方

「前回のジャンさんから『日本人の受け入れ文化とは?』について、あくまでも個人的な見解を述べます。日本人の伝統的な考え方に、『全てものに神が宿る』というものがあります。その様な感覚からか、日本人は、いかなる民族や宗教も受け入れず、一度受け入れた人や物を大切にします。ただし、日本人は、全てを日本様式にすることを好みます。それは、無言で行われます。暴力をふるって強制するのではなく、無言で、日本様式でなければ生きにくいようにする社会です。とても独特です。多分、他国から来た人はそれに慣れるまでとても苦労します。例えば、時間にルーズ、言行不一致の人は社会でゆる信用を失うような厳しい社会です。日本では宗教も自由です。しかし、日本人としてのキリスト教徒や仏教徒であるということが必要です。つまり、日本様式で日常生活を送ることが求められます。日本人の『受け入れる』というのとは、外から来た人が社会に統合されるのとは容易ではありません。日本人は外から来る人をとても警戒します。しかし、その人が日本のルールを守ると分かれば、とて大切に、尊重します。例えば、マリウのウズビ・サコ氏は2018年に日本の私立大学の学長になりました。長い間、テレビで活躍していたギニア人もいて、とても人気があつたような例もあります。『アドルフ』智子さんの説明から分かることは、日本は保守的で閉鎖的、たくさんのルールがある社会です。そのため、外から来た人が社会に統合されるのは容易ではありません。日本人の誰かが日本社会の習慣と生き方

「前回のジャンさんから『日本人の受け入れ文化とは?』について、あくまでも個人的な見解を述べます。日本人の伝統的な考え方に、『全てものに神が宿る』というものがあります。その様な感覚からか、日本人は、いかなる民族や宗教も受け入れず、一度受け入れた人や物を大切にします。ただし、日本人は、全てを日本様式にすることを好みます。それは、無言で行われます。暴力をふるって強制するのではなく、無言で、日本様式でなければ生きにくいようにする社会です。とても独特です。多分、他国から来た人はそれに慣れるまでとても苦労します。例えば、時間にルーズ、言行不一致の人は社会でゆる信用を失うような厳しい社会です。日本では宗教も自由です。しかし、日本人としてのキリスト教徒や仏教徒であるということが必要です。つまり、日本様式で日常生活を送ることが求められます。日本人の『受け入れる』というのとは、外から来た人が社会に統合されるのとは容易ではありません。日本人は外から来る人をとても警戒します。しかし、その人が日本のルールを守ると分かれば、とて大切に、尊重します。例えば、マリウのウズビ・サコ氏は2018年に日本の私立大学の学長になりました。長い間、テレビで活躍していたギニア人もいて、とても人気があつたような例もあります。『アドルフ』智子さんの説明から分かることは、日本は保守的で閉鎖的、たくさんのルールがある社会です。そのため、外から来た人が社会に統合されるのは容易ではありません。日本人の誰かが日本社会の習慣と生き方

Hatiro Shimomoto Advocacia
OAB 8115
下本八郎法律事務所

- Trabalhista – Cível e Família
労働法 – 民法 – 家庭裁判
- Comercial – Tributária – Fiscal
企業法務 – 租税法 – 税務法
- Assessoria e Consultoria Empresarial
企業 相談 コンサルティング

Hatiro Shimomoto – OAB 25.412 下本 八郎
Márcio M. Shimomoto – OAB 192.156 下本 マルシオ 雅生

Rua Coronel Meireles, 170 - Penha - SP
advocacia@hshimomoto.adv.br - www.hshimomoto.adv.br
Fone: (11) 2856-7219

「前回のジャンさんから『日本人の受け入れ文化とは?』について、あくまでも個人的な見解を述べます。日本人の伝統的な考え方に、『全てものに神が宿る』というものがあります。その様な感覚からか、日本人は、いかなる民族や宗教も受け入れず、一度受け入れた人や物を大切にします。ただし、日本人は、全てを日本様式にすることを好みます。それは、無言で行われます。暴力をふるって強制するのではなく、無言で、日本様式でなければ生きにくいようにする社会です。とても独特です。多分、他国から来た人はそれに慣れるまでとても苦労します。例えば、時間にルーズ、言行不一致の人は社会でゆる信用を失うような厳しい社会です。日本では宗教も自由です。しかし、日本人としてのキリスト教徒や仏教徒であるということが必要です。つまり、日本様式で日常生活を送ることが求められます。日本人の『受け入れる』というのとは、外から来た人が社会に統合されるのとは容易ではありません。日本人は外から来る人をとても警戒します。しかし、その人が日本のルールを守ると分かれば、とて大切に、尊重します。例えば、マリウのウズビ・サコ氏は2018年に日本の私立大学の学長になりました。長い間、テレビで活躍していたギニア人もいて、とても人気があつたような例もあります。『アドルフ』智子さんの説明から分かることは、日本は保守的で閉鎖的、たくさんのルールがある社会です。そのため、外から来た人が社会に統合されるのは容易ではありません。日本人の誰かが日本社会の習慣と生き方

「前回のジャンさんから『日本人の受け入れ文化とは?』について、あくまでも個人的な見解を述べます。日本人の伝統的な考え方に、『全てものに神が宿る』というものがあります。その様な感覚からか、日本人は、いかなる民族や宗教も受け入れず、一度受け入れた人や物を大切にします。ただし、日本人は、全てを日本様式にすることを好みます。それは、無言で行われます。暴力をふるって強制するのではなく、無言で、日本様式でなければ生きにくいようにする社会です。とても独特です。多分、他国から来た人はそれに慣れるまでとても苦労します。例えば、時間にルーズ、言行不一致の人は社会でゆる信用を失うような厳しい社会です。日本では宗教も自由です。しかし、日本人としてのキリスト教徒や仏教徒であるということが必要です。つまり、日本様式で日常生活を送ることが求められます。日本人の『受け入れる』というのとは、外から来た人が社会に統合されるのとは容易ではありません。日本人は外から来る人をとても警戒します。しかし、その人が日本のルールを守ると分かれば、とて大切に、尊重します。例えば、マリウのウズビ・サコ氏は2018年に日本の私立大学の学長になりました。長い間、テレビで活躍していたギニア人もいて、とても人気があつたような例もあります。『アドルフ』智子さんの説明から分かることは、日本は保守的で閉鎖的、たくさんのルールがある社会です。そのため、外から来た人が社会に統合されるのは容易ではありません。日本人の誰かが日本社会の習慣と生き方

小説 **クリスト・レイ** 中島宏 (31)

国際派日本人養成講座
伊勢雅臣

隈研吾

1. 「外苑の森の中に、巨大な白い宇宙船？」

昨年完成した新国立競技場。昨年はその建設が着々と進む様子を筆者はつづきに見ることができました。というのは、その頃、私のオフィスは数キロ離れたビルにあり、そこから見下ろすと、手前に赤坂御所の豊かな緑が広がり、その向こうに丈の低い、水平なドームの新国立競技場を望むことができたからです。

赤坂御所と神宮外苑の緑に囲まれた新国立競技場は、まさに「杜のスタジアム」です。

当初、国際コンペ(設計競技)で選ばれたのは、イラク出身でロンドンに数百人の事務所を構えるザハ・ハディッド女史の設計でした。完成予想図を見ると、まるで巨大な白いUFOが、75メートルもの高さで周囲の木立や建物を圧倒しています。そのUFO自体は実に「カッコいい」デザインで、「スターウォーズ」の映画に出てきたらびつたり、と思えます。

これがキャンセルされたのは、予定の何倍ものコストが予測されたからだそうですが、実は建築界の最長老・横文彦氏を中心に多くの建築家が「ザハの家は外苑の森にはふさわしくなく、ひどい環境破壊である」と声をあげていました。横氏は単独の建物よりも、周囲の環境との調和を重視した設計で世界中の建築家から尊敬されています。

大都市にこのことを忘れさせる明治神宮の豊かな杜、その外苑の緑「なぜ、あの外苑の森の中に巨大な白い宇宙船が舞い降りなければならぬのだらうか」(隈RO2, 1719)と、建築家・隈研吾さんも感じて、横氏の集める請願書に署名しました。

2. 「神宮なら木だ！」

隈さんは最初のコンペには参加していませんでしたが、やり直しのコンペが実施されることになり、大成建設のチームから、一緒にやりたいとの申し出を受けて、びつくりしました。

隈さんと一緒に取り組みました。市民が集まるための「中土間」を持った「木の市役所」を作って、地域の人に喜ばれたので、もう一度一緒にやりたいと希望したそうです。しかし提案の締め切りまで、図面も見積もりもすべて含めて、わずか2か月半、もう2ヶ月半と決まっていたので迷えない、迷っちゃいけないという状況でした。だから、神宮ならこれだ！ 神宮なら木だ！ 神宮なら木は庇みたたいになつていて杜と庇が調和するみたい、ある種、日本五重塔の断面形みたいなものが閃き、迷っちゃいけないと思つてそのまま図面にしました。【田貫、129】

外側に伸びる庇は、スタジアムと周囲をつないでいます。そこから風がスタジアムに入り、また5階には遊歩道があつて、外の緑を楽しめます。夜は照明でスタジアムが雪洞のように明るく浮き上がって見えます。高さも徹底的に詰めて、47.4メートルに抑えました。

実は軒庇のデザインを、夜、下から照らし上げたときに一番きれいに見えるような断面にしています。その照明が、たとえば最近の中国のライトアップのようにキラキラした感じじゃなくて、木のテクスチャー(JOG注:質感)を下から照らすように柔らかい光で覆うのでふわりとした印象になると思えます。【田貫、200】

軒庇の木は47都道府県すべてのものを使いました。同じ杉でも青森と秋田では色が違います。見上げると微妙な色の違いが分かるように産地ごとにまとめて使いました。

ザハ氏の、周囲を無視して自己主張する設計の対極として、隈さんのデザインは、自然や周辺環境との調和、文化や歴史との調和を大切にしています。まさに「和の国」の心を世界に示すスタジアムが誕生しました。

3. 「公衆便所は得意です」

隈さんは建築学科の学生の頃から、コンクリート

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心ももてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらい、少しでも日本に興味を持ってもらえるよう、最寄りの日本語学校や日系団体の掲示板に張ったり、普段は邦字紙を読んでいない兄弟や子や孫などに記事を紹介してください。

(ニッケイ新聞編集部)

4. 「建築は再び大地とつながることができ、かもしれない」

町長からは「僕は建築のことは分らないから何も文句は言わないけれど木だけは使ってくださいね。橋原は林業の町だから」と言われました。隈さんはそれまで木造建築をつくらなかったこともなく、初限

と鉄を主材料とする現代建築に違和感を感じていました。現代建築はコンクリートと鉄を使って、世界のどこでも場所を選ばず、より大きくより高い建物を目指します。自然とも土地とも伝統文化とも切り離されたコンクリートと鉄のビル、それはアメリカ的な工業社会の典型でした。

戦後日本はそれを理想として突っ走った最高の優等生でした。高度成長が終わる頃、大学を終えた隈さんは、それは違う建物と何か、を求め続けていました。

パブルがはじけて、東京での仕事がすべてキャンセルされた頃、友人から「高知と愛媛の県境の橋原」という町で、木造の芝居小屋が壊れかけている是非見に来て欲しい、保存運動に関わって欲しい」との依頼を受けました。

現地に行ってみると想像以上の山奥。高知空港から車で4時間。最後のトンネルを出ると、まるで雲の上に出たように爽やかな気分になりました。

木造のゆずは座は想像以上に素晴らしいが、細い木材を組み合わせた、繊細な構造システムで屋根を支えられ、椅子はひとつもなく、板張りの床の上に、座布団を置いて座る。思わず、僕の大倉山の家を思い出した。ボロさと木の匂いがかつてよかった。【隈RO2, 1184】

夜、声をかけてくれた友人と町長と、三人で飲み始めました。「ゆずは座のような素晴らしい建築を壊すなんて、ありえません」という町長も頷きました。

別れ際、町長は「隈さんは公衆便所なんかも設計するの？」とたずねてきた。「公衆便所は得意です」と、僕は胸をはった。この一言がきっかけになって、僕と橋原の付き合いがはじまりました。公衆便所と小さな町営レストランを設計させてもらい、町営ホテルも作った。【隈RO2, 1193】

5. 「細い木材を使い廻し、使い倒していく」

木造といつても巨木を使うわけではありません。日本の在来木造工法は、10センチ角、長さ3メートル程度の木材を組み合わせて使っていました。そのうする事によって、森の手入れ時に採れる間伐材を有効に使えるのです。その細くて安い間伐材を組み合わせて、地震にも耐える強い建築構造を日本人は創り上げてきました。

木造のゆずは座は想像以上に素晴らしいが、細い木材を組み合わせた、繊細な構造システムで屋根を支えられ、椅子はひとつもなく、板張りの床の上に、座布団を置いて座る。思わず、僕の大倉山の家を思い出した。ボロさと木の匂いがかつてよかった。【隈RO2, 1184】

夜、声をかけてくれた友人と町長と、三人で飲み始めました。「ゆずは座のような素晴らしい建築を壊すなんて、ありえません」という町長も頷きました。

別れ際、町長は「隈さんは公衆便所なんかも設計するの？」とたずねてきた。「公衆便所は得意です」と、僕は胸をはった。この一言がきっかけになって、僕と橋原の付き合いがはじまりました。公衆便所と小さな町営レストランを設計させてもらい、町営ホテルも作った。【隈RO2, 1193】

6. それぞれの地方の、それぞれの素材

ただし、隈さんは「木しか使わない」「木だけ使えばいい」という「木造原理主義」ではありません。それぞれの土地にはそれぞれの素材があり、それを活用する伝統技術が発達してきました。それを上手く使うことで、その土地の自然や伝統と調和した建築が生まれます。

たとえば、栃木県那須塩原の石屋さんから、壊れかけた石の蔵を改造して、「石の美術館」を設計して貰えないか、という依頼がありました。その石屋さんは芦野石と呼ばれる石を奥の山から切り出し、建材や墓石として売っていました。隈さんには予算はないが納期もなく、職人には何でも自由に関わって欲しい、と言いました。

結局、計画から6年の歳月を費やしましたが、細い棒状の石で格子を作ったり、いろいろな挑戦ができました。この建築は石の街として有名なイタリアのヴェローナから「石の国際建築賞」を受賞し、隈さんがヨーロッパで活躍するきっかけになりました。【隈RO2, 1263】

中国では、万里の長城のふもとで竹の家を作りました。予算が限られていたので、地元で安く調達できる竹を使ったのです。これが中国人の心に突き刺さったようで、2008(平成20)年の北京オリンピックの開閉式でも映像が大きく流れ、その後中国国内から「竹の家みたい、あたたかい建築を作ってくれ」との依頼が寄せられるようになりました。

人間は、それぞれの土地で採れる素材を工夫して建物を作ってきたり、その伝統が土地の人々の心に根を張っているのです。隈さんはその場所の声を聞き、その場所の職人たちに教えて貰いながら、その場所の素材を活用して、建物を作ってきました。

「素材は地域と建築をつなげ、地域の新たな産業や文化を創出するきっかけにもなる」と隈さんは語っています。【田貫、1382】

7. 地方の問題点は「自信のないところ」

隈さんが追求し、建築として表現しようとしているのは、今後の日本社会のあり方そのものです。戦後の日本は、20世紀にアメリカで生まれた鉄とコンクリートの文明を直輸入し、その優等生として経済大国を築いてきました。

気がつけば、日本の各地方の素材も伝統技術も職人も無視して、どこでも同じような鉄とコンクリートの都会を作ってきました。その都会に人口が集中し、自然と切り離された、潤いのない生活を送っています。

一方、その過程で、先人たちが、生懸命に守り育ててきた豊かな森も田畑も海も、そして文化もなおざりにされ、地方は青年たちに見離され、日本経済のお荷物となつてしまっています。「地方を回って見た問題点は？」と聞かれて、隈さんはこう答えています。

「自信がないところ、自分たちの文化に誇りが持てないところ、自信がないからローカルなものを持つてきて、なんか真似したりしてましたよ」

大事なこと、みなさんの文化はすごいんですよ」と自信をつけさせることだと思います。...

橋原もフランス人とかがいっぱい来るようになってきたのですが、そうすると、自分たちのものを外国からもこんなに見に来るんだと自信を持つようになると。【田貫、1290】

8. 「和の文明」への号砲

「自信がない」という問題点は、日本人全体に言えることでしょうか。

地球環境問題の観点から、世界の建築界は木をたくさん使う方向に向かっています。しかし、この領域で日本は出遅れました。旧来の木造家屋から脱却して、近代都市をコンクリートと鉄で作らなければ、という価値観が、いまだに我々を支配しているからです。

日本は「世界最古の木造建築の法隆寺」を有する、木造文化の先進国であったにもかかわらず、「木造コンプレックス」「木のトラフィック」から抜け出すことができていないのは、木造文化の復活に乗り遅れてしまったためです。

日本は、あれだけの技術の工が、いまでも健在なのに、この新しい木の流れに遅れをとっているのは、悔しくて仕方なかった。

新国立競技場は、その停滞した状況を打ち破る、起死回生の木の建築にすべきだという使命感が、僕らのチームを突き動かしていた。【隈RO2, 1756】

9. 「自然や周辺環境との調和、文化や歴史との調和を追求する」

自然や周辺環境との調和、文化や歴史との調和を追求する。隈さんの建築とは、自然や周辺環境との調和、文化や歴史との調和を大切にしています。まさに「和の国」の心を世界に示すスタジアムが誕生しました。

10. 「和の文明」の建築とは

和の文明の建築とは、自然や周辺環境との調和、文化や歴史との調和を追求する。隈さんの建築とは、自然や周辺環境との調和、文化や歴史との調和を大切にしています。まさに「和の国」の心を世界に示すスタジアムが誕生しました。

来年のオリンピックでは、日本中の、そして世界中の人々が、神宮の杜に調和した新国立競技場を見張るでしょう。昭和39(1964)年の東京オリンピックは戦後の日本人が目指した工業化社会の象徴になりましたが、令和3(2021)年の東京オリンピックでは、この「杜のスタジアム」が自然と調和を目指す「和の文明」への「目覚まし」となる事を期待しています。

(文責 伊勢雅臣)

■リンク
A. JOG (1160) 「鉄と石油の文明」から「木の文明」へ
「緑の日本列島」の「隠された日本の財産」が、新たな文明を開く。
http://blog.jog-net.jp/2020/04/article-2.html
【参考文献】
・隈研吾「ひとの住処」1964-2020 (KINDLE版)、新潮社
・隈研吾「建築家 走る」(KINDLE版)、新潮社
・隈研吾「建築家 走る」(KINDLE版)、新潮社
http://www.amazon.co.jp/o/asin/B083xzt7kn/ja-panonthe01-22/
・橋原町「雲の上の町ゆすは」
http://www.town.yusuharakocho.jp/kanko/kumaken-go/index.html#map

来年のオリンピックでは、日本中の、そして世界中の人々が、神宮の杜に調和した新国立競技場を見張るでしょう。昭和39(1964)年の東京オリンピックは戦後の日本人が目指した工業化社会の象徴になりましたが、令和3(2021)年の東京オリンピックでは、この「杜のスタジアム」が自然と調和を目指す「和の文明」への「目覚まし」となる事を期待しています。

(文責 伊勢雅臣)

■リンク
A. JOG (1160) 「鉄と石油の文明」から「木の文明」へ
「緑の日本列島」の「隠された日本の財産」が、新たな文明を開く。
http://blog.jog-net.jp/2020/04/article-2.html
【参考文献】
・隈研吾「ひとの住処」1964-2020 (KINDLE版)、新潮社
・隈研吾「建築家 走る」(KINDLE版)、新潮社
・隈研吾「建築家 走る」(KINDLE版)、新潮社
http://www.amazon.co.jp/o/asin/B083xzt7kn/ja-panonthe01-22/
・橋原町「雲の上の町ゆすは」
http://www.town.yusuharakocho.jp/kanko/kumaken-go/index.html#map

来年のオリンピックでは、日本中の、そして世界中の人々が、神宮の杜に調和した新国立競技場を見張るでしょう。昭和39(1964)年の東京オリンピックは戦後の日本人が目指した工業化社会の象徴になりましたが、令和3(2021)年の東京オリンピックでは、この「杜のスタジアム」が自然と調和を目指す「和の文明」への「目覚まし」となる事を期待しています。

(文責 伊勢雅臣)

■リンク
A. JOG (1160) 「鉄と石油の文明」から「木の文明」へ
「緑の日本列島」の「隠された日本の財産」が、新たな文明を開く。
http://blog.jog-net.jp/2020/04/article-2.html
【参考文献】
・隈研吾「ひとの住処」1964-2020 (KINDLE版)、新潮社
・隈研吾「建築家 走る」(KINDLE版)、新潮社
・隈研吾「建築家 走る」(KINDLE版)、新潮社
http://www.amazon.co.jp/o/asin/B083xzt7kn/ja-panonthe01-22/
・橋原町「雲の上の町ゆすは」
http://www.town.yusuharakocho.jp/kanko/kumaken-go/index.html#map

女性合格者は29.8%
20年度、国家公務員総合職

【共同】人事院は21日、2020年度の国家公務員採用試験で、「キャリア」と呼ばれる中央省庁の幹部候補となる総合職に1717人が合格したと発表した。うち女性は511人。合格者に占める割合は29.8%で、過去最高だった前年度を1.7ポイント下回った。試験の申し込み段階では、女性の割合は38.1%で過去最高だった。人事院は「合格者に占める割合も、以前より高い水準を保っている」としている。

申込者数は、総合職試験導入の12年度以降で最少の1万6730人。倍率は9.7倍だった。

徳方啓三 知っておきたい日本の歴史 (11)

第3節 産業の発達と教育・文化の普及



5代将軍徳川綱吉 (日本語: 土佐光起 English: Tosa Mitsuoki / Public domain)

17世紀のなかばになると、戦国時代の荒々しい気風も弱まった。5代将軍徳川綱吉(1646-1709)は1687年、「生類憐みの令」を...

「生類憐みの令」を廃した。寺社の建立も中止させた。新井白石(1657-1725)をとりたてて、財政立て直しの儉約政策に取...

平和な社会が到来し、人々は安心して生活の向上をめざして働いた。幕府や大名も、共に農地の拡大につとめ、干潟や河川敷などを中心に、新田開墾が大規模に行われ...

江戸時代中期には300万ha弱まで広がった。農地の大開墾と共に、農業・産業・交通なども大いに発達した。田畑を深く耕す備中鍬、脱穀用の千歯こきなど農機具...

江戸を始め、各地で城下町の建設が進むと、家屋建築の為に木材の需要が高まり、林業も盛んになった。また、肥料...

18世紀の初めには、江戸の町は将軍様のお膝元として1000年の首都であり、神社、仏閣など古い文化を誇った。また西陣織や漆器・武器・時絵など高級な工芸品を生産する手工業都市でもあった。江戸、大阪を合わせて三都といひ、補いあて栄えた。

新田開墾で田畑の面積2倍に。平和な社会が到来し、人々は安心して生活の向上をめざして働いた。幕府や大名も、共に農地の拡大につとめ、干潟や河川敷などを中心に、新田開墾が大規模に行われ...

の改良も行われ、農作業の能率が向上した。肥料も、干潟や油粕を使うようになり、土地の生産性も高まった。こうして米の生産高は上がったが、年貢は据え置かれたため、実際の年貢率は収穫高の3割程度まで軽減した。農村における商品作物の栽培も盛んになり、染料の藍や紅花、油をとる菜種、織物の麻なども生産された。

幕府の統制のもと、銀・銅貨が造られ、銀や銅は国外にも輸出された。17世紀初頭、日本の銀輸出は年間200トンに達し、全世界の三分の一を日本が占めた。江戸幕府の始まりに計画した日本橋を基点にする五街道は約160年後に完成した。参勤交代のために日本橋から始まる一里塚を建て、ヒノキ・マツを植えて目印とし、8km x 12kmごとに宿場町を整備し、関所を置いて人々の交通を管理する一方、手紙を運ぶ飛脚の制度をつくり、通信の便宜をはかった。

「下りもの」として珍重された。京都は「帝のおはすと」として1000年の首都であり、神社、仏閣など古い文化を誇った。また西陣織や漆器・武器・時絵など高級な工芸品を生産する手工業都市でもあった。江戸、大阪を合わせて三都といひ、補いあて栄えた。

江戸時代の庶民教育の場は、寺子屋だった。お寺や自宅を解放して僧侶や浪人らが教師役にあたり、寺子屋は全国に約1万5000軒以上あった。江戸時代の庶民教育の場は、寺子屋だった。お寺や自宅を解放して僧侶や浪人らが教師役にあたり、寺子屋は全国に約1万5000軒以上あった。

実践せよ、と説いた。山鹿素行なども論語を学べ、と説いた。自然科学の分野では宮崎安貞が「農業全書」を著し、農学のバイブルとなった。関孝和は独力で代数学を編み出し、円周率を算出した。この日本式数学は和算と言われ、大衆にも広がり、世界的な水準を超えていた。

《補講》二宮尊徳と勤勉の精神
★はたらきつつ学ぶ
二宮尊徳(幼名・金次郎)は1787年、現在の神奈川県小田原市の農家に生まれました。父が病死したため、長男の金次郎は14歳で家督をつぎました。一家を支えながら金次郎は学問を忘れませんでした。『大学』などの漢籍(漢文で書かれた中国の書籍)を読みながら山で刈った柴や夜なべして編んだ草履を売り歩いたといひます。

★「積小為大」の信念
16歳で母もなくなり一家は離散し、金次郎は伯父の家に預けられました。伯父は灯油を惜しんで夜の読書を禁じましたが、金次郎は自分でつくった菜種油を灯して勉強しました。金次郎は「積小為大」(小さいことでも積み重ねると大をなす)という信念で、何事も無駄にせず、工夫をこらしました。田植えのあとに捨てられた苗を拾い集め植えて、なんぼもの米を实らせました。

★605町村の復興
農業指導者・経営者に成長した金次郎は、二宮家を再興し、頼まれて小田原藩家老・服部家の財政を5年で回復させました。小田原藩主の命を受けた金次郎は、182cm、94kgの体で下野国桜町(栃木県)の新田開墾や荒地の再生に駆け回りました。金次郎は自ら田畑に入って実地指導し、用水堰をつくり、治水を行い、橋をかけ、605町村を復興させました。

★「徳をもって徳に報いる」
二宮尊徳は、単に勤勉を説くだけでなく、合理的な考えを持ち、金銭の使い道をよく心得た財政家でもあったのです。徳をもって徳に報いるという尊徳の精神は明治維新後も引き継がれ、近代国家建設を進めた日本人の心の支えとなりました。

伊能忠敬の銅像 (富岡八幡宮、酒井道久さん撮影)

《資料》寺子屋の教育

寺子屋では、読み・書き・算術に加えて、教訓、社会、地理、歴史、礼儀作法、実業などを教えた。女子には裁縫や活け花も教えた。寺子屋は、徳の育成を重んじた。孝行、正直、心の持ち方の大切さを教え、敬語と言葉づかい、勉強の時の姿勢や食事のとりかたなど礼儀作法をしつけることに力が注がれた。教科書は往來のものよばれ、7000種類以上が今日も残っている。先生は手習い師匠と呼ばれ、3人に一人は女性であった。師匠は全身全霊を傾けて教えた。

《補講》正確な日本地図をつくった伊能忠敬

これは、地球や日本の大きさを知りたいという探究心と国防の必要性が結びついて生まれた精密な日本最初の地図製作物語です。忠敬は、上総の国(千葉県)に生まれました。18歳で佐原村の伊能家の養子になりました。学問の好きな忠敬は、家業の酒造業のかたわら和算や暦学に興味を持ち、江戸から書物を取り寄せ、勉強しました。50歳になった時、息子に家をゆずり、江戸に行きました。幕府の天文学者・高橋至時の門をたたき、天文学や暦学の基礎を学びました。その当時は、日本の近海に英国、米国、ロシアの船が出没しており、蝦夷地にひんぱんに姿を見せていました。1800年、幕府は忠敬に蝦夷地の測量を命じました。測量用の機械や助手を連れ、30日もかかって蝦夷地に着きました。函館を基点に東南海岸にそって測量を始めました。忠敬の測量方法は、様々な機械を使って、角度や距離を測りながら進むのです。複雑な地形では縄を使い、平地では量程車を転がして測ります。忠敬は1歩69cmという正確な歩幅で歩くことが出来、歩きながら測量すると1日平均15・7km進んだそうです。日中は太陽、夜は恒星で位置確認をしました。江戸に戻って、蝦夷地の東南海岸部分と奥州街道の地図を完成し、幕府に提出しました。日本の国土の形と位置を始めて明らかにした画期的な実測図でした。そして、忠敬は、日本全土を測量してまわり、日本全図の作製にとりかかりました。しかし、その完成を見ないままに1818年、74歳の生涯を終えました。忠敬が蝦夷地から九州まで歩いた約3万5000kmは、地球を一周するほどの長さでした。日本全図は、幕府の暦局の人々によって1821年に完成し、『大日本沿海輿地全図』、別名「伊能図」と呼ばれました。幕末に来日したイギリス海軍の将校は、日本を後進国と思って、侮っていましたが、『伊能図』をみて「西洋の技術もつかわずに、なんと正確なのか」とおどろき、測量は必要ないと引き上げてしまいました。『伊能図』は、和算の水準の高さ、科学を極めようとする実証精神、困難にめげない不屈の日本人の魂の記念碑なのです。

トランプ政権打倒へ決意

バイデン氏 国民融和訴え

「米は暗黒の時」

【ワシントン共同】仲井大祐、田中光也。米民主党大会は20日、11月の大統領選の候補者に指名されたジョー・バイデン前副大統領(74)が受諾演説し、共和党のドナルド・トランプ大統領(74)打倒へ決意を表明した。社会の分断や人種対立が進んだ現政権下の米国は「暗黒の時」だと断罪。自身は分断解消を図り、国民融和に取り組むと訴えた。オンラインで4日間実施した大会を締めくくった。

オンライン大会閉幕

バイデン氏は地元デラウェア州ウィルミントンからの中継で「米国の在り方を民主主義、科学、表裏を懸けた選挙」と表明。選挙で争う時ではない」として結束の必要性を強調した。トランプ氏の新型コロナウイルス対応を「国民を守るのに失敗した」と非難し「大統領就任初日から、国家戦略を実行する」と対策強化を約束した。

米中除く173カ国が関心

ワクチン共同出資枠組み

【ジュネーブ共同】途上国のワクチン普及を進める国際組織「Gavi」が関心を示した173カ国が、ワクチン共同出資枠組みに参加する意向を示した。Gaviは「ワクチン共同出資枠組み」を通じて、途上国にワクチン供給を支援する。参加国は、ワクチン共同出資枠組みに参加する意向を示した。Gaviは「ワクチン共同出資枠組み」を通じて、途上国にワクチン供給を支援する。

トランプ氏元最側近を逮捕

Bannon容疑者、壁建設巡り

【ワシントン共同】米ニューヨークの連邦地検は20日、メキシコ国境地帯の「国境の壁」建設のため民間から募った巨額の資金をだまし取ったとして、詐欺やマネーロンダリング(資金洗浄)の疑いで、トランプ大統領の最側近だった元首席戦略官スティーブン・バノン容疑者ら4人を逮捕した。前大統領選で選対本部最高責任者だったバノン容疑者が、政権の実績として訴える国境の壁建設に絡み逮捕されたこと、11月の大統領選で再選を狙うトランプ氏にとって打撃になりそうだ。トランプ氏は20日、

重油 海岸10キロ超に漂着

マンダローブも、被害拡大

【共同】インド洋のモーリシャス島沖で発生したリシャス島沖で発生した重油流出で、少なくとも10キロに及ぶ海岸に漂着した。地元当局者が共同通信の取材に明らかにした。マンダローブにも大量の重油が漂着している。マンダローブの面積は2千平方キロに満たない。特に油が漂着した10キロ圏内はホテルが並び、観光客に人気の地区だった。地元メディアによると、当局は天候不良で沖合の小島の調査を十分にできず、被害範囲はさらに広がりつつある。モーリシャス政府は19日「5カ所を魚を採取し、2カ所の魚から(重油成分)の炭化水素を検出した」と発表し、海洋生物に何らかの影響が出ている可能性がある。

住民に63億

0億賠償へ

米メデアによる

【ニューヨーク共同】米中西部ミシガン州州府リン市で2014年から、鉛に汚染された水道水を飲んだ住民に健康被害が相次いだ問題で、州当局は20日、被害に遭った住民に6億3千万(約634億円)を支払うことと発表した。州当局は「米メデアによる」と賠償金の約8割は当時18歳未満だった人々に支払われる。ミシガン州の汚染問題は「決して安全になったとはいえない」として、途上国を含む全世界で並行してワクチン接種を行う必要性を強調した。

藤浪 692日ぶり白星

復活へ一歩踏み出す

【共同】浅山は表情に万感の思いがにじみ出た。阪神の藤浪が7回途中4失点(自責点2)と苦しみながら、今季5度目の先発で2018年9月29日以来、692日ぶりの白星をつかんだ。第一声は「長かった」。嫌でも周囲の音が耳に入るだけに「ちょっと楽になれるかな」という感じはする。と安堵の笑みを浮かべた。得点圏に走者を背負うともろろが見えたが、この日は粘った。4-0の2点は味方の拙守も絡んで2点を取ったが、青木をともに速球で抑えた。落ち着いて入れた。ばたばたといかなくて良かった」と分岐点に挙げた。終始、150キロ台の速球を大胆に投げ込み、ストライク先行で攻めた。入団から3年連続で2桁勝利を挙げ、前途洋々だった。ただ、制球難で16年ことから暗転し「苦しいことが多かった」と、もろもろを再考。再起へ柔軟性を高めるなど体をじっくり直し、投球フォームも何度も修正を加えた。「人の痛みが分かる。誰かの失敗にどうこう思わなくなってきた」と精神面での変化も自覚している。

無安打で自己ワーストに

大谷、外野にすら飛ばさず

【サンフランシスコ共同】米大リーグ、エンゼルスの大谷は20日、サイフランシスコでのジャイアンツ戦に5番・指名打者としてフル出場し、5打数無安打、2三振だった。メジャーでは自己ワーストの16打席連続無安打。チームは5-10で敗れて3連敗。試合前の打撃練習では31スイングで10本の



7回途中4失点で2年ぶりの勝利を挙げた阪神・藤浪＝神宮(共同)



初陣で西武に勝利し、ウイニングボールを手に笑顔のオリックス・中嶋監督代行＝京セラドーム(共同)

中嶋代行、初陣で白星

不振ジョーンスが逆転

【共同】長井、オリックスの中嶋監督代行が初陣で白星を手にした。不振だったジョーンスの同点サードと勝ち越し2点適時打で逆転勝ち。17勝33敗4分けで最下位と厳しい状況は変わらないが、記念のウイニングボールを握り締め「借金の数を見れば簡単に上の話ではないが、目指さない」と決意を述べた。

田口、立ち上がり乱れる

巨人、連勝ストップ

【共同】河部は巨人は九回に4点を挙げ、2点を差まで追いつめた。結果として一回の5失点が重かった。先発の田口監督代行は「一戦一戦、全力で戦うだけ。やるしかない」と言葉に力を込めた。

序盤の乱調響いて遅れ

野野、前女王の意地も

【共同】田丸英生は、浜野は序盤の乱調が最後まで重くのしかかった。海沿いに向かい風をまともに浴びる最初の5ホールで6オーバー。スタート前は風がどのくらい影響するのかわかった。案の定、不安のままだ。ボギー、ボギー。特に4番(パリス)ではトリスで見たような展開。コースで見たような展開。コースで見たような展開。コースで見たような展開。

